

会 議 録

会 議 の 名 称		第1回 川島町環境保全審議会並びに川島町廃棄物減量等推進審議会会議録
開 催 日 時		令和7年6月26日(木)午後2時00分から午後3時00分まで
開 催 場 所		川島町役場 2階 中会議室
議 事		(1) 川島町環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)について (2) 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)について
公開・非公開の別		公開(傍聴者なし)
出席者	委 員	矢部 英男・遠山 寿二・野村 尚男・大和久 洋介・ 後藤 真太郎・鈴木 貞美・井ヶ田 幸生・菊池 建太・鈴木 健・ 飯島 久美子・瀬間 さやか・江間 裕一 計12名
	事務局職員	町民生活課 課長 高城 同 生活環境グループ 主幹 友野・主査 石島 同 施設管理グループ 主幹 横山・主査 山木
配 付 資 料		・会議次第 ・川島町・桶川市ごみ処理広域化について(報告事項1) ・川島町環境基本計画の見直しについて(資料1-1) ・川島町一般廃棄物処理基本計画の見直しについて(資料1-2) ・令和6年度エネルギー使用量排出量及び増減理由(資料2) ・川島町環境基本計画(参考資料) ・一般廃棄物処理基本計画(参考資料) ・ごみ処理基本計画(参考資料)
委 員 委 員 委 員 事務局	審議会の内容・概要 1 開会 2 会長あいさつ 3 事務局紹介 4 報告事項 川島町・桶川市ごみ処理広域化について 質問なし 5 議事 (1) 川島町環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)の見直しについて(資料1-1)(資料1-2) 《意見及び質疑応答》 ごみを燃やして終わりではなく、資源を有効に活用する循環型のシステムを取り入れ、先に繋がる発想を取り入れていくべきだと思う。	
	一般廃棄物の処理には、建設業や紙関係など業種限定型の業者が携わっていると思う。そういった業者は、循環型のルートをよく知っているのはいか。その方々に、会議に参加していただくのは難しいとしても、アンケートなどにより意見を聞けるといいと思う。	
	ごみ処理基本計画は川島桶川資源循環組合が主導で作成されたものか。	
	昨年度までは、川島町町民生活課の中にごみ処理施設整備推進室があり、そこで川島町と桶川市の「ごみ処理基本計画」の策定をした。今年の4月か	

	らは、ごみ処理施設整備推進室が川島桶川資源循環組合に移行し、川島町とは別の組織となった。今後は、川島桶川資源循環組合が中心となり、どのような施設でどのようにごみ処理をしていくのかをすり合わせていくことになる。町としても、川島桶川資源循環組合と連携し、進捗状況については、この審議会の場にてご報告をさせていただく。また、場合によっては、ご意見を伺うこともあるかと思うので、その際にはご協力をお願いしたい。
委 員	ごみ処理基本計画の見直しの時は、また審議会に諮ることになるのか。
事務局	川島町の審議会と桶川市の審議会の双方に諮ることになる。
委 員	荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の事業では、環境教育の場としても活用されている。これらの活動は、民間の事業所が主導となって行っている事業も多い。これからは、民間主導という部分も参考にしながら行っていくことも考えた方がいいのではないか。 (2) 川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）について（資料2） 《意見及び質疑応答》
委 員	電力会社ごとで、二酸化炭素の排出係数が違うということで、排出係数の低い電力会社と契約を変更したとあるが、電気料金等のコストは上がってないのか。また、二酸化炭素の排出量を削減するために、自力で取り組んだことはないのか。
事務局	電力会社の変更については、二酸化炭素の排出係数だけでなく、電気料金の安い方を選択して契約している。 自力での取り組みについては、職員に対して定期的に周知し、電気やパソコン使用時の節電の意識向上を図っている。また、順次施設のLED化を実施し、施設更新を行っている。
委 員	今回の報告では、電力会社を変更し、結果的に二酸化炭素の排出量が削減できたようにも感じる。もっと部門別に削減目標を設定して、削減に向けた取り組みを実施すべきである。
委 員	これまでの審議会では、もっと、取り組みに向けた具体的な説明があったと思うが、今回は使用量の報告だけなのか。
事務局	今年度は、まだ地球温暖化対策実行計画推進委員会の開催が出来ておらず、具体的な削減への取り組み等についての協議はこれからである。ひとまず、昨年度のエネルギー使用量の報告がまとまったので、報告させていただいた。また、次回の会議の時に具体的にお話させていただく。
署 名	大和久 洋介
	井田 幸生